

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2006-187425 (P2006-187425A)

【公開日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報 2006-028

【出願番号】特願 2005-933 (P2005-933)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 5 日 (2007.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いの間に被検体内情報取得装置を保持するための保持空間領域を形成し、前記保持空間領域内に前記被検体内情報取得装置を収容して保持する第 1 および第 2 の保持手段と、前記保持空間領域を閉塞し、滅菌ガス透過性を有する滅菌シートと、を備えることを特徴とする被検体内情報取得装置の収容ケース。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 の保持手段のいずれか一方が他方の保持手段内に収容されることを特徴とする請求項 1 に記載の被検体内情報取得装置の収容ケース。

【請求項 3】

前記第 1 および第 2 の保持手段間に前記滅菌ガスの通過が可能な通路を、さらに備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の被検体内情報取得装置の収容ケース。

【請求項 4】

前記第 1 および第 2 の保持手段の少なくとも一方に前記滅菌ガスの通過が可能な穴部を、さらに備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の被検体内情報取得装置の収容ケース。

【請求項 5】

前記第 1 および第 2 の保持手段の少なくとも一方が前記滅菌ガスの通過が可能なメッシュ形状に形成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の被検体内情報取得装置の収容ケース。

【請求項 6】

前記第 1 および第 2 の保持手段は、前記保持空間領域内に収容される被検体内情報取得装置を点接触または線接触で保持することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一つに記載の被検体内情報取得装置の収容ケース。

【請求項 7】

前記収容された被検体内情報取得装置は、前記第 1 および第 2 の保持手段の少なくとも

一方に保持され、かつ前記保持空間領域内に收容されることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の被検体内情報取得装置の收容ケース。

【請求項 8】

前記被検体内情報取得装置は、被検体内の画像情報を取得するカプセル型内視鏡であることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか一つに記載の被検体内情報取得装置の收容ケース。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】被検体内情報取得装置の收容ケース

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、被検体内に導入されて被検体内部の画像情報を取得する被検体内情報取得装置、たとえば飲み込み型のカプセル型内視鏡を收容する被検体内情報取得装置の收容ケースに関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、上記問題に鑑みてなされたものであって、收容ケースに收容された被検体内情報取得装置全体をムラなく、確実に滅菌することができる被検体内情報取得装置の收容ケースを提供することを目的とする。また、本発明の他の目的は、被検体内情報取得装置を確実に保持することができる被検体内情報取得装置の收容ケースを提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明にかかる被検体内情報取得装置の收容ケースは、互いの間にカプセル型内視鏡を保持するための保持空間領域を形成し、前記保持空間領域内に前記カプセル型内視鏡を收容して保持する第 1 および第 2 の保持手段と、前記保持空間領域を閉塞し、滅菌ガス透過性を有する滅菌シートと、を備えることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

また、請求項 2 の発明にかかる被検体内情報取得装置の收容ケースは、上記発明におい

て、前記第１および第２の保持手段のいずれか一方が他方の保持手段内に収容されることを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、請求項３の発明にかかる被検体内情報取得装置の収容ケースは、上記発明において、前記第１および第２の保持手段間に前記滅菌ガスの通過が可能な通路を、さらに備えることを特徴とする。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

また、請求項４の発明にかかる被検体内情報取得装置の収容ケースは、上記発明において、前記第１および第２の保持手段の少なくとも一方に前記滅菌ガスの通過が可能な穴部を、さらに備えることを特徴とする。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

また、請求項５の発明にかかる被検体内情報取得装置の収容ケースは、上記発明において、前記第１および第２の保持手段の少なくとも一方が前記滅菌ガスの通過が可能なメッシュ形状に形成されることを特徴とする。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

また、請求項６の発明にかかる被検体内情報取得装置の収容ケースは、上記発明において、前記第１および第２の保持手段は、前記保持空間領域内に収容されるカプセル型内視鏡を点接触または線接触で保持することを特徴とする。

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

また、請求項７の発明にかかる被検体内情報取得装置の収容ケースは、上記発明において、前記収容されたカプセル型内視鏡は、前記第１および第２の保持手段の少なくとも一方に保持され、かつ前記保持空間領域内に収容されることを特徴とする。

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明にかかる被検体内情報取得装置の収容ケースは、第1および第2の保持手段間で形成される保持空間領域内に被検体内情報取得装置を収容して保持することで、被検体内情報取得装置を確実に保持できるとともに、この保持空間領域を閉塞するように、滅菌ガス透過性を有する滅菌シートを設けることで、収容ケースに収容された被検体内情報取得装置全体をムラなく、確実に滅菌することができるという効果を奏する。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

以下に、本発明にかかる被検体内情報取得装置の収容ケースの実施の形態を図1～図16の図面に基づいて詳細に説明する。なお、本発明は、これらの実施の形態に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々の変更実施の形態が可能である。